

事業番号	02 08 08	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	集落「再熟」、実施モデル地区支援事業費			担当課	部局	企画振興部	
					課・室	地域振興課	
総合5か年計画	プロジェクト	6-1-1 誇りある暮らし実現プロジェクト			E-mail	shinko@pref.nanano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 3 元気ある地域づくりの促進			実施期間	H25 ~ H28	

1 事業の概要

目指す姿	市町村と住民が一体となって本来の力を発揮し地域の存続のために取り組むことにより、住民が自らの暮らす地域に誇りと自信を持ち、「信州の宝」である美しい農山村が守り育てられている状態を目指す。 成果目標:取組を始めた地域では、生産年齢人口(15歳～64歳)割合が増加(H29)		
現状	○中山間地域等では、人口減少や少子高齢化が急激に進行 ○県内の過疎地域では、65歳以上人口が50%以上の集落は400にのぼり、とりわけ10年以内に消滅すると危惧される集落は29ある ○農山村を支える集落において、人々の暮らしの原点である「絆」が壊れようとしており、このままでは、文化・歴史・景観という無形の財産や、農地・山林という「ふるさと」の基盤も壊れてしまう危機に直面している		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 市町村と住民が一体となって行う地域の存続に向けた取組を県が総合的に支援することで、先導的な役割を果たし、他地域における取組を促進する必要があるため	
事業内容	① 成果目標(H25) 「集落「再熟」、ビジョン」策定に向けた取組を開始した地区数 4		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H25事業実績
			H25 (当初) (決算) H26 (当初)
1.集落「再熟」、実施モデル地区支援事業	補助金・交付金	○「集落「再熟」、ビジョン」策定の支援 ・補助対象 ビジョンの策定に要する経費 ・補助額 定額(1,000千円) ・実施地区 4地区 【阿智村清内路地区・麻績村市野川地区 生坂村大日向地区・山ノ内町須賀川地区】 ○庁内、現地機関による支援チームの設置 ○先行的な取組事例の提供	4,000 3,568 16,000
2.モデル地区連携支援会議開催経費	直接	実施市町村間の連携の確保や支援、事業の取組状況や成果等の情報発信を目的とし、地域づくりの専門家による講演を含めた会議の開催(2回:H25.11.20、H26.3.19)	- (50) 69
3.プレゼンテーション審査経費	直接	モデル地区選定のための選定委員によるプレゼンテーション審査の開催(H25.5.28)	- (22) 22
		合計	4,000 3,568 (3,640) 16,091

事業コスト	区	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算			4,000	16,091
		補正予算				
		合計(A)	0	0	4,000	16,091
	Aの財源	国庫支出金				
		県債				
		その他(繰入金)				50
		一般財源	0	0	4,000	16,041
	決算額(B)			3,568		
概算人件費	職員数(人)			1.85	3.16	
概算事業費(C)		0	0	15,277	26,095	
概算事業費(B(A)+C)		0	0	18,845	42,186	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
ビジョンの策定に向けた取組を開始した地区数	0	4	4	達成	4

目標に対する成果の状況	平成25年度選定したモデル地区4地区で、「再熟」、ビジョン」を策定【ビジョンの概要】 ●阿智村清内路地区「住んでいるみんなが「しあわせ」と「誇り」を感じる清内路」地区の宝(伝統野菜、花木、生薬)を産業に結びつけ、年金+αの収入が得られる仕組みづくり等 ●麻績村市野川地区「人と人をつなぐ結いの里市野川」都会の人の楽しみが田舎の力となり、移住者が増え市野川の住民とともに、結いの里づくり ●生坂村大日向地区「農地再生・就農定住・よみがえる大日向地区」遊休荒廃地を活用した農地再生と就農希望者が自立して生活できるモデル体制の確立等 ●山ノ内町須賀川地区「ウエルネスがかかわ～元気活性的なおもてなし・須賀川～」新たな共同体の仕組みづくりと若者の移住定住を促す環境整備や地域の食文化の振興を軸に「ウエルネスがかかわ」の発信等
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、市町村と住民が一体となって行う地域の存続に向けた取組を県が総合的に支援を行い、モデル地区の取組や成果等を検証して発信していくことで、各地域への取組の促進につなげる。